

■ 開催趣旨

世界各国で茶の消費は増えており、コロナをきっかけに人々の健康への意識も、より高まってきている。こうした背景や経済情勢から、茶の輸出大国では自国での消費が増え、今後も世界の緑茶生産量は増加すると予測されている。また、日本茶の輸出は増加傾向で、令和3年の緑茶輸出額は204億円と過去最高となった。

世界緑茶会議 2022 では、主な日本茶輸出先である欧米で活躍する茶業界代表者による講演により、茶の最新情勢を把握するとともに、世界における多様な日本茶のポテンシャルについて、実際に海外で日本茶を販売しているパネリストを迎え議論を交わす。

■ プログラム

2022年10月20日（木）

1:30 pm	開会 議長及びパネリスト紹介
1:35 pm - 2:50 pm	【セッションⅠ】：講演 ◆ 角川 修 ／国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 ◆ シャロン・ホール *ビデオ参加 ／英国ティー・インフュージョン協会 最高経営責任者 ◆ マキシミアン・ウィティグ *ビデオ参加 ／ドイツ 茶・ハーブティー協会 事務総長 ◆ ロナ・ティソン *ビデオ参加 ／伊藤園(北米)株式会社 副社長
2:50 pm - 3:00 pm	休憩
3:00 pm - 4:30 pm	【セッションⅡ】：パネルディスカッション ～世界における多様な日本茶のポテンシャルを探る～ 議長：角川 修 パネリスト（順不同）： ◆ 門脇 サラ／Sara's Tea Caddie, LLC 代表取締役 ◆ 古橋 克俊／丸善製茶株式会社 代表取締役 ◆ イアン・チュン／株式会社 MATCHA LATTE MEDIA 代表取締役 ◆ フローラン・ヴェーグ／青鶴茶舗 店主
4:30 pm	閉会